

みんなで子育て

家庭教育学級開催でお世話になります。
よろしくお祈いします。

西濃県務所 振興防災課 振興防災係
家庭教育担当:酒井 俊亘
電話:0584-73-1111 <内線212>



バックナンバーはこちら ↑



大垣市・海津市・養老町・垂井町・関ヶ原町・神戸町・輪之内町・安八町・揖斐川町・大野町・池田町

西濃地区で子育てにかかわる皆様

この通信は、西濃地区の「家庭教育」「子育て支援」「家庭教育学級」に関わってくださっている方々に向けて、発行しています。西濃地区の子育て情報、「家庭教育学級」の参考となる取組、時期に合った効果的な活動を伝えることで、家庭教育に関わる皆さんを応援します。この通信を掲示したり、配布したり、一部を引用したりして、他の保護者の方にも広めていただくとありがたいです。

また、子育ての講師紹介、講演依頼（YouTube配信やZoom配信での講話も可）の他、家庭教育に関して何か困ったことや知りたいこと、開催の手伝いの依頼などがありましたら、ご要望にお応えできるように努めます。遠慮なく、上記の家庭教育担当までご連絡ください。

西濃では、コロナ禍であっても、家庭教育学級・子育て活動を推進される皆様の熱意と創意工夫で持続可能な家庭教育学級が行われています。今年度も1年間よろしくお祈いします。

子育ての最終目標は **子どもの自立** 自分の力で幸せに生きていける人に育てること

親としての人生を歩んでいる私たち。子どもが1歳になれば、それは、親としての1歳のバースデー。時には、親としてこれでいいのかと悩む日もあります。でも、大丈夫。それもあなたにとって大切な日々。ともに悩み、ともに学びましょう。子どもが学び成長するように、大人も学び、成長しましょう。

家庭とは

- ◇愛情による絆で結ばれた場
- ◇常に子どもの心の拠り所となるもの
- ◇子どもが生きていくための基礎を培う場

家庭教育とは

- ◇すべての教育の出発点
- ◇子どもの健全な身体と人格の発達のために、親またはそれに準ずる大人が子どもに対し家庭で行う教育

家庭教育学級とは

- ◇“子育て”や“しつけ”について学んだり、悩みを話し合ったりして、親としての成長を確かめる場
- ◇家庭教育に携わるものどうしが前向きに子育てに取り組む元気を与え合う場

家庭教育学級の対象者は、すべての保護者です。

家庭教育学級は、子どもの育ちによって、様々な場所で開催されています。

例) 乳幼児学級

子育て支援センター、児童館・公民館・地区センターでの子育て講座
幼稚園・幼児園・こども園・保育園等の保護者会
小・中学校PTA等



家庭教育学級

- 保護者の学びの場
- 保護者どうしの交流の場
- 親子の交流の場



子育てでは、AIが発達しよつとも、最後まで人間が行うべき高度で知的な役割と言われています。

「仕事が忙しく、子育てに十分時間をかけられない。」

「毎日、生活するだけで精一杯で…。」

確かに、「子育て」の時期は働き盛りの時期と重なり、毎日毎日、時間はあっという間に過ぎていくのが現実です。

しかし、子どもは乳児から青年期の間、驚くほどのスピードで体と心を成長させていきます。そして、この時期に「大人から適切な支援・援助がある子ども」と「そうでない子ども」とでは、親子の愛着形成の面、心の成長の面から大きな違いが表れてきます。「子育ての時期」は今しかありません。子どもだけでなく、私たち親にとっても、今しか経験できない大切な時期なのです。

また、子育ては、未来を担う人づくりの基盤です。これからの社会を担っていく人材を育てることで未来を創るという、私たちの大切な役割なのです。

持続可能な家庭教育学級をめざして

～With コロナ時代の家庭教育～

親の笑顔が子の笑顔
親の育ちが子の育ち



子育てネットワークづくり

家庭教育学級 5つのポイント

- その1 子育てを見直す
- その2 子育て仲間をつくる
- その3 親子のふれあいを増やす
- その4 リフレッシュする
- その5 自分も家族も笑顔になる

園や学校の実態に即して
実施可能な活動の工夫

◇ 親としての成長を応援する
学び合う場の充実

◇ 親子のふれあいを深める取組の推進
◇ 親と親、親子と地域とのつながりを
広げる取組の推進

家庭教育学級の充実に向けて

家庭教育学級 5つの型

A 園・学校行事参加型

就学時検診、授業参観、PTA活動など園・学校の行事がある機会をとらえて開催する。
○多くの保護者に学びの機会が提供できる。

B 体験活動参加型

ヨガ、アレンジメント、料理、遊びなど保護者自身のリフレッシュや親子のふれあいの場を設定する。
○参加者が集まりやすい。
○家族のふれあいができる。

C 講演会型

テーマに即した講師を依頼し、専門的な話を聞くことで、課題に応じた学びの場を設ける。
○専門的な話を聞くことで、より深く自分の思いや行動を振り返ることができる。

D 子育てサロン型

小グループで和気あいあいと、互いの経験や悩みなどを交流し、子育てのヒントをつかむ。
アイスブレイクや県のプログラムを活用すると効果的。
○保護者どうしのつながりが深まり、子育てに対する安心感や自信が生まれる。

E 在宅取組型

「約束運動 宅配サービス」
「話そう！語ろう！わが家の約束」運動(全小・中学校 全学年で実施)
親子で料理、運動、趣味などに取り組み、絆を深める。早寝・早起き・朝ごはん、お手伝い、ハグ週間など、約束を決めて取り組む。(1家庭1実践)
○全保護者に働きかけができる。
○学んだことを生活に生かすことができる。

在宅での開催

コロナ対策をしたの開催 オンラインでの開催

コロナ感染症の状況をみながら3つの開催から選択したり、組み合わせてみましょう。

※令和5年度の園や学校の家庭教育担当者、保護者の家庭教育の担当となられた方が対象です。
令和5年度の家庭教育学級担当者が決まり次第、このリーダー研修会についてお知らせ願います。

令和5年度西濃地区家庭教育リーダー等研修会

オンラインによる2段階の研修会

①オンデマンド配信

令和4年3月中旬から5月末まで

自宅で好きな時間に配布資料とYouTube動画を視聴して学びます。

家庭教育・家庭教育学級のねらいコロナ禍でも実施可能な家庭教育学級の在り方



②ライブ配信

令和5年5月19日(金)
幼保 10:00~11:30 小中 13:30~15:00

オンラインミーティングに参加している人どうしの少人数グループの交流会、又はサテライト会場での少人数グループでの交流会を行います。

家庭教育学級プログラムの体験
家庭教育担当者としての疑問や不安の払拭



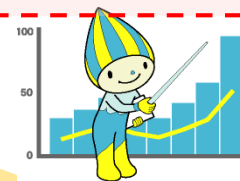
「①オンデマンド配信」研修

ただいま開催中です。受講をお願いします。

3月中旬から 5月末まで

- 研修資料は、各園・学校に配布済みです。デジタルデータも送付済みです。前任の家庭教育担当者や学校の家庭教育担当者にお尋ねください。

「②ライブ配信」研修には、
「①オンデマンド」研修を終えて、参加してください。



「②ライブ配信」研修

令和5年5月19日(金)

幼保 10:00~11:30 小中 13:30~15:00

※参加申し込みを学校・園に送付しましたので、申し込みをお願いします。
令和5年4月14日(金)締切です。

- 「②ライブ配信」研修資料と配信への参加の仕方の説明資料は、後日参加者に送付します。
- 小・中学校は、各学校から、幼・保は、各地のサテライト会場から参加します。

家庭教育学級の推移

コロナ禍からの脱却

家庭教育学級開催

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
幼保	93.2%	96.4%	100%
小学校	94.7%	100%	100%
中学校	96.7%	96.6%	100%

西濃地区すべての園・学校で
家庭教育学級が開催されました！

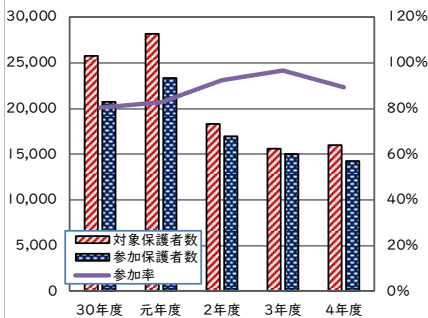
参加者の推移

園	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
延べ開催数	414	446	282	262	275
対象保護者数	25,756	28,193	18,365	15,610	15,994
参加保護者数	20,754	23,303	16,995	15,062	14,302
参加率	81%	83%	93%	96%	89%

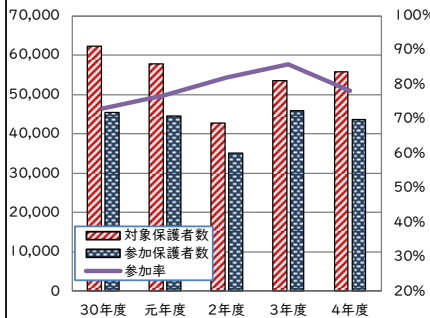
小学校	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
延べ開催数	554	545	302	395	440
対象保護者数	62,242	57,784	42,679	53,484	55,747
参加保護者数	45,521	44,510	35,085	45,991	43,587
参加率	73%	77%	82%	86%	78%

中学校	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
延べ開催数	159	160	72	78	96
対象保護者数	30,829	25,186	17,771	17,554	23,447
参加保護者数	17,905	14,595	13,611	13,603	14,531
参加率	58%	58%	77%	77%	62%

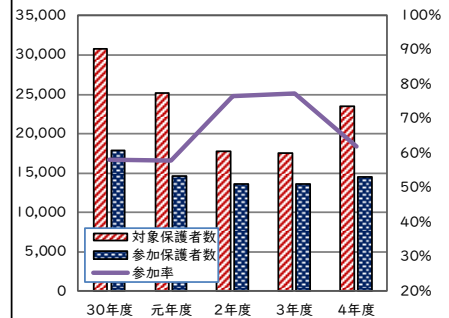
【園】参加数と参加率



【小】参加数と参加率



【中】参加数と参加率

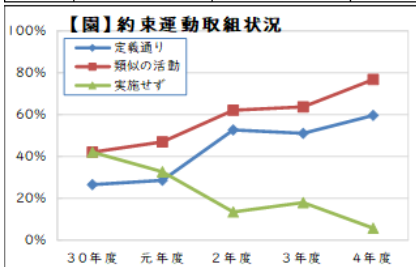


【家庭教育学級開催数・参加数・参加率】

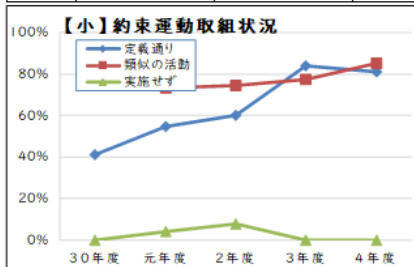
- 家庭教育学級の開催数は、園・中学校でコロナ以前の6割、小学校では7割ほどに戻ってきました。小・中学校の対象保護者数・参加保護者数はV字回復をしています。
- 小・中学校の参加者数・参加率が上がったのは、コロナ禍で在宅取組型が増えたためです。今後、会場開催が増えるにつれて、園行事参加型・体験活動型が多かった園の参加者数は増えると予想されます。
- 中学校は会場開催が増えると、参加者数・参加率が減ることが予想されます。中学校の家庭教育で学ぶ対象保護者数を増やすためにも、在宅取組型の全校開催が望まれます。

「話そう!語ろう!わが家の約束」運動取組状況

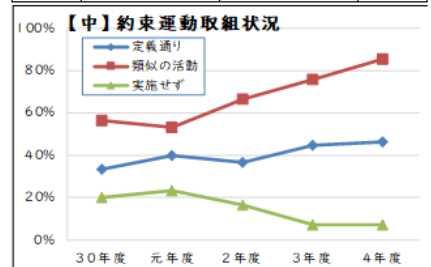
園	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
全家庭					
定義通り	27%	29%	53%	51%	60%
類似の活動	42%	47%	62%	64%	77%
実施せず	42%	33%	14%	18%	6%



小学校	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
全家庭					
定義通り	41%	55%	60%	84%	81%
類似の活動	79%	73%	75%	77%	85%
実施せず	0%	4%	8%	0%	0%



中学校	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
全家庭					
定義通り	33%	40%	37%	45%	46%
類似の活動	57%	53%	67%	76%	86%
実施せず	20%	23%	17%	7%	7%



西濃地区すべての小学校で約束運動を実施されました！

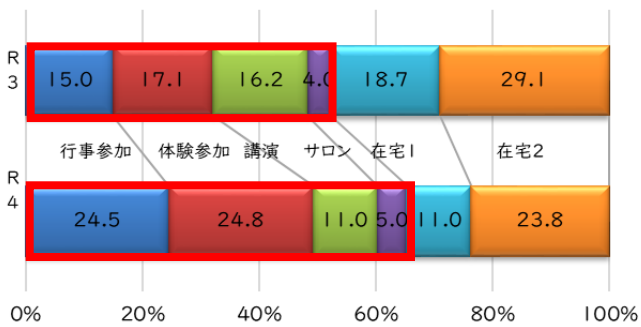
【「話そう!語ろう!わが家の約束」運動取組状況】

- コロナ禍で会場開催ができなくなり、在宅取組型が中心となったため、「話そう!語ろう!わが家の約束」運動(類似の取組を含む)の取組を行う園・学校が確実に増えています。約束運動を実施しない園・学校は少なくなり、小学校では、コロナ禍前に戻り、西濃すべての学校で取組まれました。
- 約束運動がきっかけとなり、親子のコミュニケーションが増え、習慣化することで親子関係も変わってきます。そうしたよさを実感する保護者を増やすためにも、幼保・中学校での取組の100%開催が望まれます。

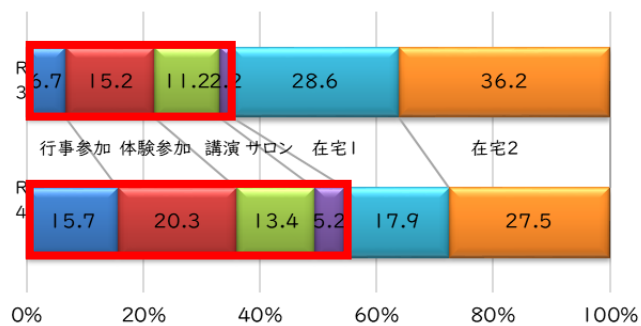


令和4年度 家庭教育学級実施ならびに「話そう！語ろう！わが家の約束」運動への取組状況調査

園 開催形態(5分類)



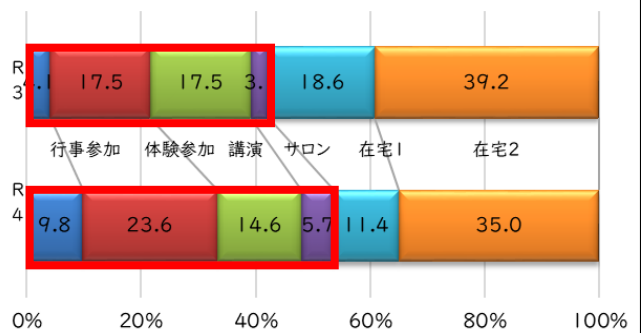
小学校開催形態(5分類)



【開催形態について】

- 園・小中学校共に、会場開催の家庭教育学級の実践が多くなってきました。
- YouTube動画の配信による講演会型・在宅取組型も選択肢の一つとして選ばれるようになってきました。オンラインにより対象者を増やす形態は今後も続けていきたいです。
- 今後、会場開催が増えることが予想されますが、保護者同士のコミュニケーションの機会を増やしたり、生活習慣化させたりするために、園・学校行事参加型・体験活動参加型・講演会型に子育てサロン型・在宅取組型を組み合わせる開催形態を推奨します。

中学校開催形態(5分類)



R4 学習内容	幼保	小学校	中学校
	787回	1180回	314回
1 基本的な生活習慣	13.2%	15.7%	11.8%
2 自立心	12.1%	11.2%	12.4%
3 自制心	6.0%	7.3%	8.9%
4 善悪の判断	4.4%	4.3%	7.3%
5 挨拶および礼儀	6.7%	6.9%	5.7%
6 思いやり	10.8%	10.8%	10.2%
7 命の大切さ	9.5%	9.9%	9.9%
8 家族の大切さ	17.8%	20.2%	17.2%
9 社会のルール	7.5%	5.2%	9.2%
10 その他	11.9%	8.5%	7.3%

【学習内容について】

- 昨年に続き、家族の大切さ、基本的な生活習慣、家族の大切さ、自立心の項目が多く取り組まれています。こうした内容は、各園・学校の課題とタイアップして取り組むことで効果が倍増します。

R4 学習テーマ	小学校	中学校	幼保
	207回	68回	77回
ア 基本的な生活習慣	31.9%	33.8%	50.6%
イ 食育	26.1%	22.1%	39.0%
ウ 人権・いじめ	21.3%	22.1%	
エ スマホ・SNS・情報モラル	20.8%	22.1%	10.4%

【学習テーマについて】

- 幼保・小・中とも基本的な生活習慣をテーマにすることが多いです。
- 給食試食会なども復活の兆しがあり、食育が増えました。バランスのとれた食事や栄養について学ぶ機会としていきたいです。

R4資料活用・工夫	幼保	小学校	中学校
家教運営マニュアルの活用	51.9%	58.7%	32.1%
家教学級プログラムⅡⅢ(乳幼児編)の活用	44.2%	4.0%	0.0%
家教学級プログラムⅢ(小・中学校編)の活用	5.8%	57.3%	42.9%
家教学級プログラムⅣ(次世代編)の活用		13.3%	10.7%
開催日時の工夫	69.2%	76.0%	85.7%
型の組み合わせ	50.0%	54.7%	28.6%
タブレット端末の活用	13.5%	18.7%	35.7%

R4資料活用・工夫 R3→R4	幼保	小学校	中学校
家教運営マニュアルの活用	15.6%	12.0%	8.0%
家教学級プログラムⅡⅢ(乳幼児編)の活用	7.9%	2.7%	0.0%
家教学級プログラムⅢ(小・中学校編)の活用	4.0%	4.0%	8.4%
家教学級プログラムⅣ(次世代編)の活用		5.3%	7.3%
開催日時の工夫	11.0%	-4.0%	6.4%
型の組み合わせ	6.4%	4.0%	-5.9%
タブレット端末の活用			

【学習テーマについて】

- 運営マニュアルやプログラムの利用が増えていきます。
- これまで低迷していた型を組み合わせた家庭教育学級も増加傾向にあります。
- タブレット端末を家庭教育学級で利用することも行われるようになりました。

家庭教育学級閉講式の挨拶

「年間計画」の指針になります。

この家庭教育学級委員長さんの閉講式の「挨拶の中」には、1年間の家庭教育学級を計画する上でのポイントとなるものがたくさん表れています。最後に、このような挨拶ができる取組になるように、1年間の計画を立てられるといいですね。

閉講式にあたり、ご挨拶をさせていただきます。

〇〇学校の家庭教育学級では、「共に学び、豊かな心を育てよう」をテーマに、本年度、4回の家庭教育学級を行いました。

第1回目は、〇〇先生の「今を生き生きと～親子が共に育つには～」という講話を聞きました。思っているだけでなく、言葉にして「ありがとう」という感謝の言葉を1日3回は使おうという心に響くお話でした。土曜日の家族参観日で、「引き渡し訓練」もあることから、170人という大勢の方に聞いていただくことができました。

第2回目は、1年生の保護者の皆さんを対象に、PTA本部の協力を得て、給食試食会を開催しました。子ども達の給食の様子を参観するとともに、栄養教諭の先生から安心・安全で、バランスのとれたメニューを工夫されている学校給食のお話を聞きました。この日のメニューは、〇〇でしたね。試食しながら、小グループごとの食育の話も弾み、おいしくいただきました。

第3回目は、〇〇先生をお招きし、「思春期を見通した子育て」というテーマでお話を聞きました。小中合同で行った人権学習で、75人の参加を得ました。性について考え、相手を大切にすること、自分を大切にすること、命を大切にすることについて学びました。

第4回目(本日)は、〇〇先生に美しい姿勢と健康的な歩き方について教えていただきました。左右・前後で体の傾きがあったり、歪んでいたりすることが多く、まっすぐ立つことを意識した「なりきりウォーキング!!」で、身体がすっきりしました。その後、茶菓子を用意し、少人数ごとのグループで日頃の思いを語り合い、笑顔と笑い声のあふれた楽しい家庭教育学級となりました。

また、11月には、「『話そう! 語ろう! わが家の約束』運動」として、全保護者・児童による在宅取組を実施しました。ミナモの実践カードを使い「1日1ハグ～ギュッと抱きしめよう～」を初めて行い、大好評でした。親子のハグとコミュニケーションで互いの中に幸せホルモンが分泌され、親と子の愛情と信頼を実感し、家族の絆を深めました。

家庭教育学級とは、「学びの場」であり「子育てについての交流の場」ですが、学級や学年をこえた「新しい出会い」や「つながりを生む場」でもあります。

私自身、家庭教育学級を運営するにあたり、悩んだり迷ったりすることもありましたが、この活動を通して得られた「多くのよき仲間との出会い」に支えられ、1年間やりきることができました。そして、交流の幅も広がりました。

PTA役員の皆さんの高い志のもと取組をさせていただけたことに、心から感謝しております。これからも家庭教育学級が、皆様のすばらしい学びの場であり、出会いの場であることを願っています。今までのご支援・ご協力、本当にありがとうございました。

• 1年間のテーマを決めて取り組んでいます。

• 土曜日の参観日を活用して、参加者を増やしています。(講演会型)

• 学級の対象者を決めて開催しています。
• 子どもの食生活についての交流を入れています。(学校行事参加型+講演会型+子育てサロン型)

• 中学校と連携して開催しています。
• 小中で課題となっている「命」について学んでいます。(講演会型)

• 「親子のふれあい」をねらいとし、親子で体験しました。(体験活動参加型+子育てサロン型)

• 県から配布された実践カードを活用して「『話そう! 語ろう! わが家の約束』運動」を採り入れています。
• ハグをすることで家族の絆を深めました。

• 5つの型が年間にバランスよく配置されています。
• 「出会いとつながりと安心」を生む「子育てサロン型」を適切に取り入れています。

